

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために  
**取扱説明書**

**HGNAシリンダー錠  
対応門扉**

**もくじ**

1. 安全のために必ず守ってください	1
2. 各部の名称	2
3. 使用方法	3
3-1 錠の操作方法	3
3-2 落し棒の操作方法	3
3-3 サムターンの操作方法	4
3-4 両面シリンダーの操作方法	4
3-5 ご注意とお願い	5
4. お手入れについて	5
5. 修理と保証	6

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
<b>⚠ 警告</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
<b>⚠ 注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
<b>お願い</b>	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
<b>補足</b>	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

# 1 安全のために必ず守ってください

## ⚠ 注意



●開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。

## ⚠ 注意



●門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガをするおそれがあります。

## ⚠ 注意



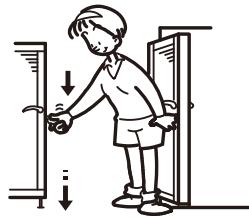
●門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間、錠のハンドル部分などに手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

## ⚠ 注意



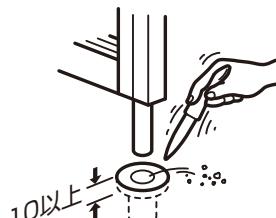
●強風時には必ず施錠し落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たってケガをするおそれがあります。

## ⚠ 注意



●落し棒の付いている側の門扉は、必ず落し棒を下げて固定してください。強風で扉が動き、人に当たってケガをするおそれがあります。

## ⚠ 注意



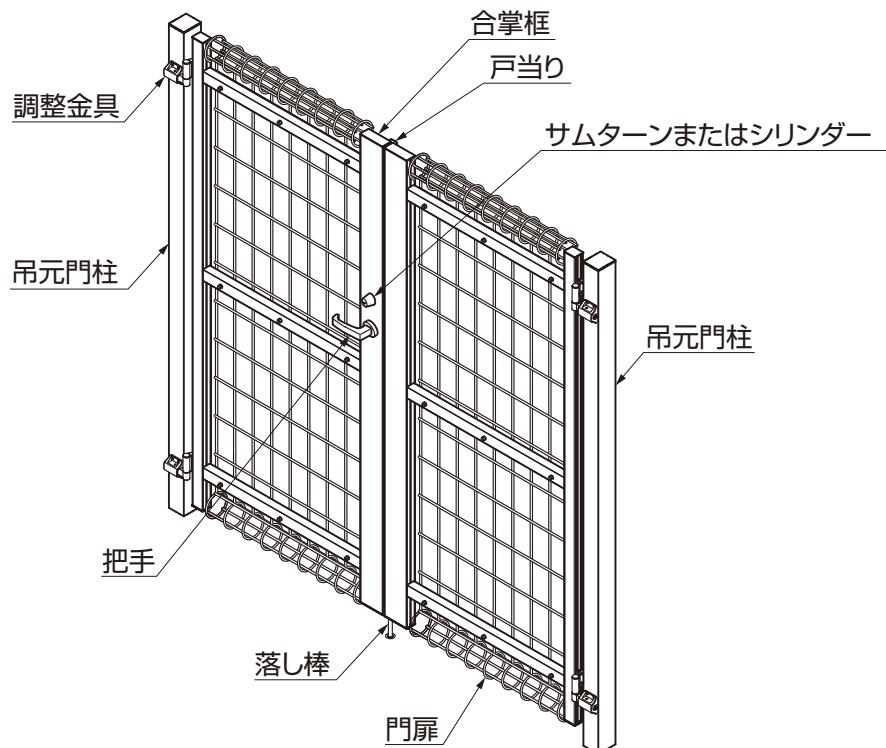
●落し棒付の門扉では、落し棒受けの土砂を掛かりが10mm以下になる前に取除いてください。落し棒のかかりが浅いと強風で扉が動き、人に当たってケガをするおそれがあります。

## 2 各部の名称

※錠は美和ロック製のシリンダー錠を取付けた例を示しています。

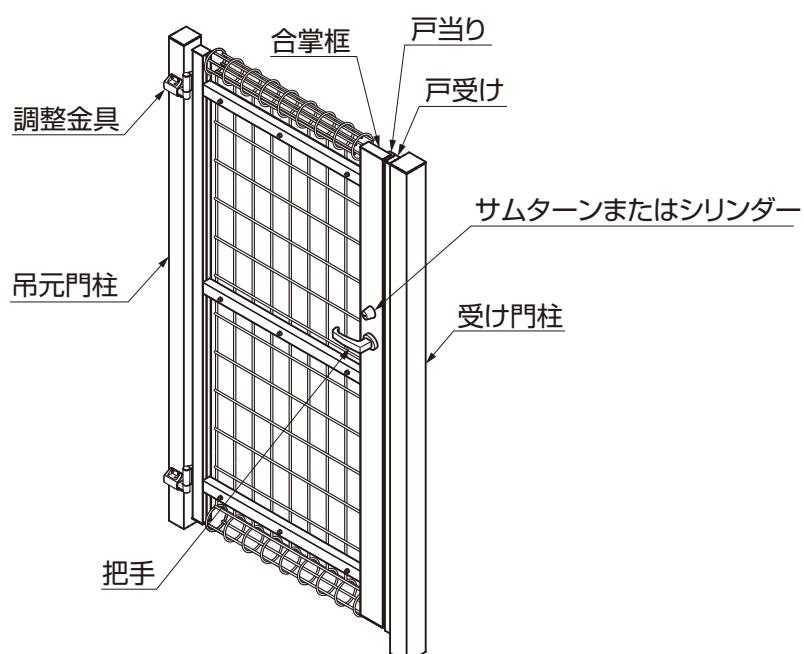
### (1)両開き

※図は家側から見た両開き門扉を示します。(HGNAシリンダー錠対応門扉の内開き)



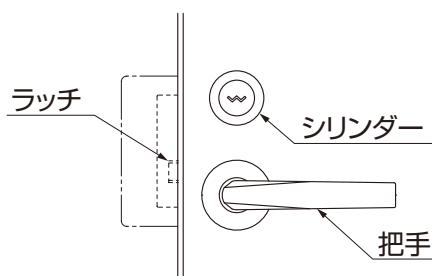
### (2)片開き

※図は家側から見た片開き門扉を示します。(HGNAシリンダー錠対応門扉の内開き)



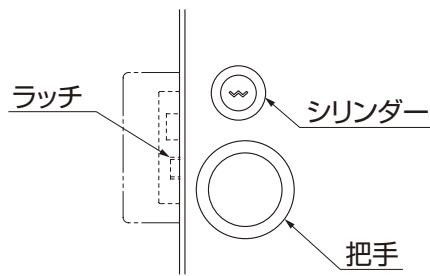
### (3) レバーハンドル錠

※図は道路側から見た右勝手の場合を示します。



### (4) ノブ錠

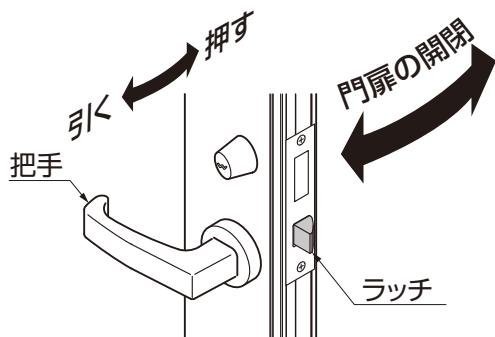
※図は道路側から見た右勝手の場合を示します。



## 3 使用方法

※図は美和ロック製のLA錠を取り付けた例を示しています。  
現地調達いただきました錠につきましては、錠メーカーの説明書をご参照ください。

### 3-1 錠の操作方法

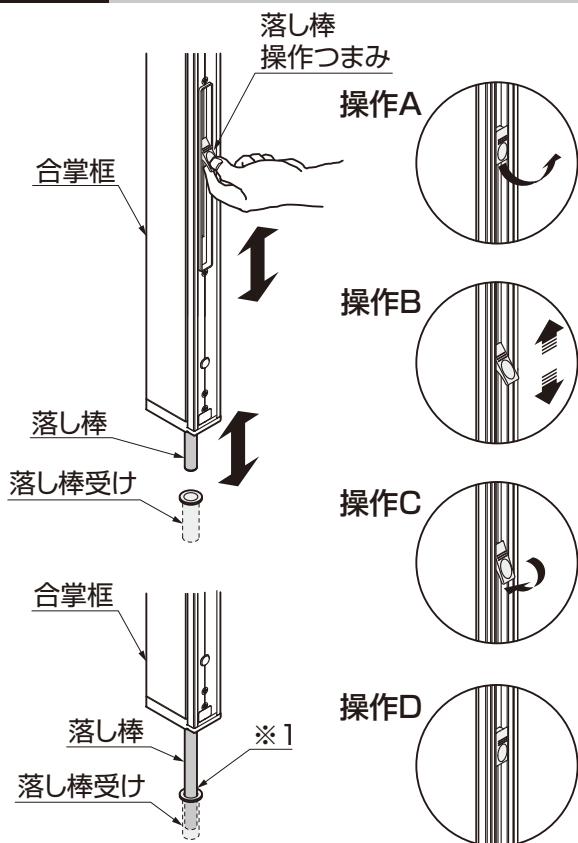


- 把手部分下げるとラッチが外れて門扉が開きます。
- 把手を持って門扉を閉じると、ラッチが掛かり門扉が閉まります。

#### 注意

- 施工方法により、フックボルトのネジ部が飛び出す場合があります。ケガのおそれがある為、フックボルトのネジ部にお手を触れないようお願い致します。

### 3-2 落し棒の操作方法



- 落し棒を操作するには、落し棒操作つまみを一旦おこします。(操作A)

- ①で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒を操作します。(操作B)

- 一旦起こした落し棒操作つまみを元にもどして固定します。(操作C,D)

#### 注意

- 扉を開閉するときは、落し棒操作の際に起こしたつまみを元に戻し、落し棒を固定してからおこなってください。  
つまみを起こしたまま扉を開閉すると、落し棒や門扉が破損するおそれがあります。

#### 補足

- 門扉を固定する場合は、落し棒が落し棒受けに入っていることを確認してください。(※1)

### 3-3 サムターンの操作方法

(1)道路側 ※図はレバーハンドル錠



図3-1 シリンダーが右側にある場合

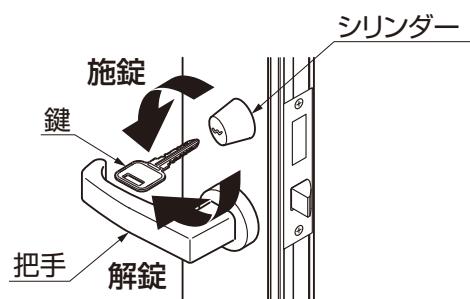


図3-2 シリンダーが左側にある場合

(2)家側 ※図はレバーハンドル錠



図3-3 サムターンが左側にある場合

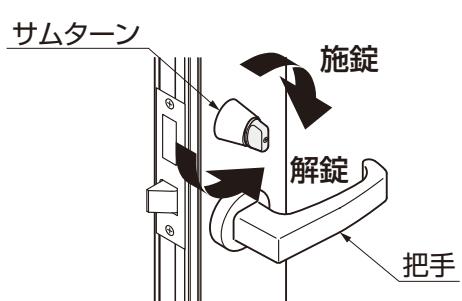


図3-4 サムターンが右側にある場合

### 3-4 両面シリンダーの操作方法

(1)道路側 ※図はレバーハンドル錠



図3-5 シリンダーが右側にある場合

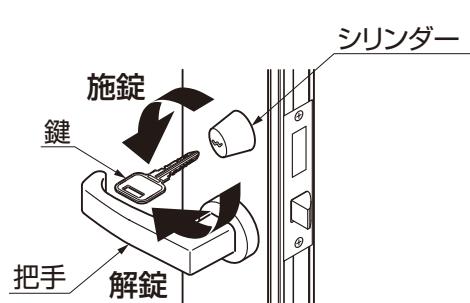


図3-6 シリンダーが左側にある場合

(2)家側 ※図はレバーハンドル錠



図3-7 シリンダーが左側にある場合

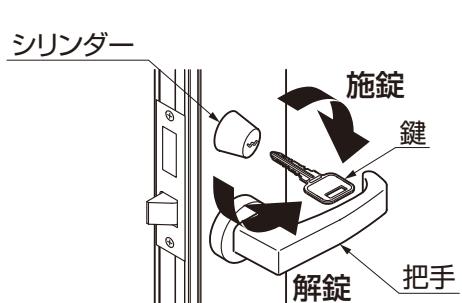


図3-8 シリンダーが右側にある場合

## 3-5 ご注意とお願い

### ⚠ 注意

- 部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずに、お買いあげの販売店（工事店）にご相談ください。異常作動したり破損して危険です。
- 看板などの受風面積を増やすものの取付けはおさけください。風圧を受け商品が破損するおそれがあります。

### お願い

- キーはメーカー純正のものをご使用ください。  
なお、キーの作製を行うためには、キーNoが必要です。  
キーNoは、英数字でキーに刻印していますので、「5.修理と保証」の欄に控えてください。
- 鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。  
鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。  
油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- 門扉を開閉する範囲に障害物を設置しないでください。  
扉や設置した物が破損するおそれがあります。  
やむを得ず設置した場合は、物にぶつけないように十分注意して  
門扉を開閉してください。
- 門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、  
表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
- ネジのゆるみがないか定期的に確認してください。



## 4 お手入れについて

### (1) 汚れの取り方

- ① 年に2~3回は水洗いをして拭きとってください。
  - a. 汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭いた後、乾拭きをしてください。
  - b. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

### お願い

- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。
- ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

### (2) キズの補修

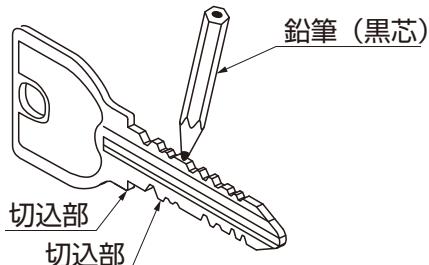
- ① あやまってアルミにキズをつけた場合は、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

### (3) 錠・シリンダーの手軽なお手入れ方法

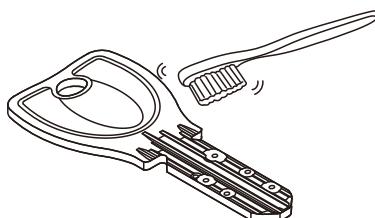
- ①鍵の切込部を鉛筆でなぞるように黒く塗り、数回鍵穴に抜き差しをしてください。

#### お願い

- 鍵に付着した鉛筆の黒い粉は、布等でふきとってください。付着したまま使用されますと衣服等を汚すことがあります。



- ②鍵を歯ブラシ等で軽く掃除してください。



## 5 修理と保証

※現地調達いただきました錠につきましては対象外です。

#### (1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。  
●保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

#### (2) 保証期間

#### お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

#### (3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。  
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。  
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製品名		ご 住 所	
施工日	年 月 日	電 話 番 号	
施工店名		キ - N o .	

- 消耗品は寿命があり、有償修理となります。

